

今日から使える!

Classroom English

Lesson 2

授業の始まりに 使える表現

4月から始まった外国語の授業は順調ですか。英語で元気に授業を始められていますか。

今回は、授業を始めるときに使える表現を紹介します。外国語活動の経験がある児童はもちろん、初めて英語に触れる児童にとっても楽しい時間となるように、授業のはじめのあいさつや号令を英語で言ってみましょう。そうすることで、児童も英語スイッチが入り、教室全体の英語モードが高まるでしょう。

紹介する表現は、5語程度のものが多いので、慣れるまでは、言いやすい表現を繰り返し使ってみましょう。児童も同じ表現を繰り返し聞くことができるので、定着がしやすくなります。慣れてきたら、少しずつ違った表現を取り入れることで、バリエーションを増やしていけるといいですね。英語で話すことに自信がないと、声が小さくなりがちですので、大きな声で、ゆっくり、はっきりと言い切るように心がけましょう。

Let's start!

はじめましょう!

授業を始めることを伝える表現です。ALTに“OK!”と反応してもらうことで、児童も少しずつ、この表現を聞いたら、“OK!”と返せるようになるでしょう。「今日の授業」という意味の“today's class”や、「英語の授業」という意味の、“our English class”を付け足すこともできます。「スタート」という言葉は日本語にもありますが、「ター」と伸ばした後に、舌先を少し巻き上げるようにして、語尾の「ト(to)」まで言い切らないようにすると、より英語らしい音になります。

Hello, everyone!

こんにちは、みなさん!

英語でのあいさつの基本といえばこれですね。「こんにちは」と訳していますが、時間を選ばずいつでも使える便利な表現です。“Hello.”の代わりに、少しでもだけた“Hi.”も使えます。everyoneはclassという表現に置き換えることもできますし、教師や児童の名前を入れて呼びかけることもできます。教師に対しては、名字にMr./Ms.を付けて、“Hello, Mr. Kimura.”のように、児童にはファーストネームで“Hello, Shun!”といった具合です。授業の時間帯に合わせて、“Good morning.”や“Good afternoon.”なども活用しましょう。

菅井幸子 すがい さちこ

株式会社イーオン 東京本社法人部 学校教育課 教務コーディネーター

岩手県生まれ。大学卒業後、イーオン入社。

2007年より教務課トレーナーとしてイーオンスクールの教師育成に従事。15年に学校教育課の立ち上げに参加し、全国の教育委員会や学校で、教員向けの英語指導法や英語力アップの研修などを行っている。

How are you?

元気ですか?

おなじみの表現ですが、“I'm fine, thank you. And you?”と、自動的に応答している人も少ないのでは。機械的なやり取りとして定着させるのではなく、そのときの気分で応答が変わるものだとことを体感させたいものです。fineの代わりにgreatやgoodも使えます。“I'm sleepy.”のように、形容詞を続けて体調を表すこともできます。「まあまあ」という意味で“So-so.”を使っている人もいますが、まずまずな気分を表すときには、“I'm OK.”のほうが自然です。

How's the weather today?

今日の天気はどうですか?

“It's sunny.”のように、“It's + 形容詞.”で答えませ。授業のはじめにいつもこの質問をすることで、児童の応答も徐々にスムーズになっていくでしょう。よく使う表現：sunny(晴れている)、cloudy(曇っている)、rainy(雨ふりの)、windy(風が強い)、hot(暑い)、cold(寒い)などに慣れてきたら、あまり聞き慣れない表現：chilly(肌寒い)、freezing(凍えるほど寒い)、humid(湿気が多い)、muggy(蒸し暑い)なども紹介できると、児童の知的好奇心をかきたてるでしょう。

What day is it today?

今日は何曜日ですか?

天気の質問と同じように、曜日についても授業のはじめに聞くようにすると、自然な流れで曜日の言い方を覚えることができます。授業がある曜日だけ覚えることがないように、1週間の曜日の言い方も紹介できるといいでしょう。質問に答えるときには、“It's Monday.”のように答えますが、「月曜日に」と言いたいときは、onという前置詞を伴います。(例：I play soccer on Monday.)その日の日付をたずねる質問の“What's the date today?”と混同しないようにしましょう。

★ここがポイント!!

今回は、How やWhatなどの疑問詞を使った質問、「WH疑問文」をいくつか紹介しました。英語での質問には、このほかに、“Are you hungry?”(おなかですいていますか。)のようにYes/Noでたずねるものもあります。どちらの疑問文も、文の最後にクエスチョン・マークがあるので、つつい語尾を上げたいりますが、WH疑問文のときは、イントネーションを下げると自然です。授業中に質問をするときにも、このルールを意識してみてくださいね。